



SALON 94

Dress Magazine, November 2013



1つの作品のなかに、さまざまなテクスチャーを組み合わせているのがユニーク。カップ&ソーサーであってカップ&ソーサーではない。彼女のイマジネーションは果てしない。



Artist Profile02.

Francesca Dimattio

フランチェスカ・ディマッティオ

出身地アメリカNY 生年1981年 NY 歴ネイティブニュー Yorker



1. 普段はダンボのスタジオで行う絵つけの作業を撮影用にデモンストレーション。針のように細い筆で繊細な柄を描いていく。 2. 縄文土器のように底が尖ったカップを一輪挿しのようなソーサーに挿して。今はやカップ&ソーサーとしての機能はない。 3.4.5.6. 広大な敷地には、佳居とウエディングテントのアトリエ、菜園が点在している。創作活動と同じくらい料理や保存食づくりも楽しんでいるとか、友人を招いてBBQや焼き火を楽しむことも。来年にはアーティストの夫と共同の新しいスタジオが完成する予定。



イラストレーターの母親は陶芸が趣味。その影響を受け、自然にアーティストの道に進んだ。



「最初は普通のカップ&ソーサーだったものが、取っ手をたくさんつけたたり、ソーサーが動物になったり。機能があるものからスタートして、次第に機能を失っていく。そのプロセスが面白い」。確かに、このカップ&ソーサーでコーヒーを飲めるかという点、到底無理でも、そこに存在するだけで、その空間が豊かでハッピーなものになる。それがアーティストの力なのかもしれません。

そこに存在するだけで豊かな空間になるのがアート
マンハッタンから車で北へ2時間半。週末の小旅行気分を訪ねたのは、アップステートにあるフランチェスカ・ディマッティオさんのスタジオ。アップステートは、最近、若手アーティストたちがこぞってスタジオを構えているというホットなアート・スポットです。「週末はブルックリンのダンボにあるスタジオで小さな作品を、平日はアップステートで大きなものをつくっています。つくる場所が変われば、当然気分もつくるものも変わってきますね」。テーブルの上に並んでいるのは、カップ&ソーサーをモチーフにしたユニークなセラミックアート。ダンボのスタジオで制作したものです。